

3. 日常点検（運行前点検）でディスク・ホイールの取付状況（ホイールボルト、ナット等）を確実に点検するとともに、タイヤ交換時には適切な作業と交換後の増し締めを行う。

大型車保有事業者 対象

過去3年間（令和元年度～3年度）の岩ト協会員事業者による車輪脱落事故は、18件発生！特に11月～2月で18件中15件発生（全体の83%）！脱落箇所は全て左後輪！！

日常点検

運行前にディスク・ホイールの取付状況（ナット緩み・脱落、ボルト付近さび汁、ボルト突出不揃い・折損）について確実に実施する。

タイヤ交換作業

「タイヤ交換作業管理表」に基づき、適切で確実な交換作業を行う。特にナットとワッシャーの隙間に給脂することを忘れずに行う。（給脂しないと規定の締め付けトルクで締め付けても、所定の軸力が得られないため）

タイヤ交換後の増し締め

タイヤ交換後、50～100km走行後に増し締めを確実にを行う。

「ホイールナットマーカー」の活用

昨年末に岩ト協会員事業者に配布した「ホイールナットマーカー」を活用し、日常点検におけるディスク・ホイールの取付状況の確認の一助にご活用下さい。

4. 荷役作業時の労働災害を防止する。

陸運業における労働災害の約7割が荷役作業時に発生！特に荷台等からの「墜落・転落」が約3割と最も多い（続いて「転倒」が約2割）！また、ロールボックスパレット（カゴ車）の取扱い中の災害也多発しており、この約8割が不適切な取扱いが原因！！

荷役作業時の「墜落・転落」「転倒」防止

『陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン』にある「墜落・転落による労働災害の防止対策」「転倒による労働災害の防止対策」の徹底を図る。

荷役作業時の安全なロールボックスパレットの取扱い

- ①『ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル（安全に作業するための8つのルール）』を遵守する。
- ②『改良しましょう ロールボックスパレット3つのポイントを提案します』を周知・活用する。
- ③『ロールボックスパレット 使う前の5つのチェックリスト』を活用する。

「下期の交通事故・労働災害防止に向けた重点項目」に係る指導用資料を岩ト協ホームページに掲載しております！必要な資料のダウンロードができます。ホームページアドレス <https://iwatokyo.or.jp/>

※パソコン環境により資料をダウンロード（印刷）ができない会員事業者は、岩ト協業務課までご連絡下さい。必要な資料を印刷して郵送いたします。 ☎019-637-2171

